

鹿児島県立鹿児島南高等学校

商業科 情報処理科

団体の紹介・活動の目的

普通科、商業科、情報処理科、体育科を併設し、それぞれの学科で特色ある教育活動が展開され、進路実績や体育文化活動において高い評価を得ている県立高校です。

地域資源を活用したグローバル・ブランド商品（持続的に流通可能な商品）を企画開発する取組を通じて、商業科や情報処理科で学習した知識や技術の深化を図ると共に、地域創生に貢献しようとするマインドを高めようとするものです。

連携・協力している団体など

鹿児島みらい農業協同組合、株式会社薩摩黎明プロジェクト、亀崎染工有限会社

活動の内容

持続的に流通可能なグローバル・ブランド商品を開発するため、県産品に関するアンケート調査及び生産農家並びに製造業者の現地訪問等を行いました。商品コンセプト、パッケージデザイン、ネーミングを考案すると共に伝統工芸技術「印染」による企画商品 PR 幕を、職人の指導のもと、生徒の手により製作しました。マリポート鹿児島に寄港した外国籍のクルーズ乗船客を対象に「高校生カフェ」をオープンし、企画商品のアンケート調査等を行いました。現在は、需要コストに対応した生産と流通の体制を連携団体と協働しながら構築しているところです。

①



「企画会議の様子」

商品開発の一環で、欧米人を対象にした「高校生カフェ」を企画し、書道部、茶道部、華道部と連携し、日本文化と企画商品をどのように PR するかを検討しています。

②



「『高校生カフェ』実施の様子」

マリポート鹿児島で、クルーズ乗船客を対象に企画商品のアンケート調査を行いました。黒さつま鶏等を使用したスナックを試食した感想を、欧米人から聞いています。

③



「伝統技術『印染め』で PR 幕製作の様子」

企画商品と日本の伝統工芸技術を同時発信し、クール・ジャパンの印象を外国人に与え、ブランド構築に活用する媒体として、職人指導のもと、PR 幕を製作しています。

④



「企画商品の主原料『桜島小蜜柑』の収穫体験の様子」

桜島町の生産農家に訪問し、作物の収穫を体験しました。収穫方法だけでなく、桜島小蜜柑の特性、生産と流通の仕組、生産農家の現状及び問題点についても学習しました。